

よく学び力をつける子 友達となかよくできる子 はつらつと体をきたえる子

令和6年度



# とよはる

みんな友達 豊かな心 あふれる意欲

<http://schit.net/kasukabe/estoyoharu/>

春日部市立豊春小学校

学校だより15月

児童数 524人

春日部市道順川戸 37-1

令和6年5月1日



## よい習慣は才能を超える

校長 今木敏浩

教室をまわるとマスクをつけている子が多いことに気づきました。担任に尋ねると、コロナ禍の習慣が続いているのでしょうか、とのことでした。私はその話を聞いて、「よい習慣は才能を超える」という言葉を思い出しました。

この言葉は、ある講演の中で、佐々木常夫氏（元東レ取締役、元東レ経営研究所所長）が話された言葉です。管理職向けの講演で、タイム・マネジメントに関する内容でした。

では、よい習慣とはどんな習慣なのでしょう。「早寝、早起き、朝ご飯」や「歯磨き」などもその一つです。例えば私は、食後すぐにでも歯磨きをしたくなります。こうした習慣は、長い間そうすることによって、むしろ、その習慣ができないことの方がストレスになります。

そして、よい習慣の中で、学校と家庭が連携して身につけさせたいものが、「学習習慣」ということになります。学習というものは、授業を受けただけで自分のものになるわけではありません。自分自身で振り返り、理解する。さらに、問題を解いたり、内容を覚えたりすることで定着が図られ、自分のものになると

考えれば、「学習習慣」がいかに大切かということは至極当然のことです。

本校でも、学年ごとに家庭学習の取組について指導し、学年に見合った内容、量の課題を日々出しています。毎日の積み重ねが、学習習慣として定着できればと思っています。ご家庭でも見届けをお願いいたします。

さて、先出の佐々木氏は、課長時代私生活において困難な時代でした。長男は障がいを抱えていました。またその時期は、奥様が病気を患い43回も入退院を繰り返して、そのこともあって心の病を併発してしまっただけでなく、障がいのある長男をはじめ、3人のこどもを育てるために、毎日午後6時に退社しました。そして、家事の一切と仕事を両立するために、タイム・マネジメント術を編み出しました。そうした経験から実感したことが「よい習慣は才能を超える」ということです。

ご家庭で、そして、学校で取り組むよい生活習慣、学習習慣づくりが、受験期をむかえたときや社会人となったとき、その力を発揮してくれると信じております。

## 4月の教育活動より



### 始業式



4月8日(月)に始業式を行いました。新しい担任を紹介すると、こどもたちは、とても嬉しそうでした。新学期を迎え、意欲に溢れていることが伝わってきました。今年度も教職員一同、全力でこどもたちを支えていきます。



### 入学式



4月9日(火)に1年生77名が豊春っ子の仲間入りをしました。入学式後の学級活動では、担任から名前を呼ばれると、元気に返事することができました。これから楽しい学校生活が始まります。こどもたちの笑顔が輝いていました。



### 1年生を迎える会



4月17日(水)1年生の入学を祝いました。2年生は、朝顔の種、3年生は、ペンダントをプレゼントしました。1年生は、歌のお礼をしました。豊春小には、優しいお兄さんお姉さんがたくさんいます。みんなで1年生が楽しく学校生活を送れるように支援をしていきます。

### 第1回学校運営協議会



4月19日(金)に学校運営協議会を行いました。昨年度作成した「豊春っ子7か条」を学校、家庭、地域で取り組み、こどもたちを共に育てていきたいと話し合いました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力よろしく申し上げます。

### 豊春っ子7か条

- 1 明るいあいさつをします。
- 2 気持ちをことばでつたえます。  
(「ありがとう」「いいね」「ごめんなさい」)
- 3 使ったものは、かならずもとのところへもどします。
- 4 外から帰ったら、うがい手あらいをします。食事の前には手をあらいます。
- 5 ルールを守ります。
- 6 人のめいわくになることはしません。
- 7 よく遊び、よく学び、よくねます。